

2

「JF共済(JF共水連)」の健全性・安定性は…

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率は、経営の健全な水準を大きく超えています。

平成20年度の支払余力(ソルベンシー・マージン)比率は654.7%となっています。

これは、経営の健全な水準とされる200%を大きく超えており、十分な支払余力を確保しています。

※支払余力(ソルベンシー・マージン)比率とは

通常の予測を超えて発生する諸リスクに備えて、どのくらいの支払余力(ソルベンシー・マージン)があるかを判断するための、行政監督上の指標のひとつです。

なお、この比率は、JF共水連が生命共済と損害共済を兼営していることから、生命保険や損害保険を単営している民間保険会社のソルベンシー・マージン比率と単純に比較することはできません。

項目	平成19年度末	平成20年度末
支払余力(ソルベンシー・マージン)総額(A)	37,662 百万円	27,407 百万円
リスクの合計額(B)	8,578 百万円	8,372 百万円
支払余力 (ソルベンシー・マージン)比率 $\frac{(A)}{\frac{1}{2} \times (B)} \times 100$	878.1%	654.7%

責任準備金の積立

責任準備金の堅実な積立を行っています。

JF共水連は、総資産の約94%を将来の共済金の支払いに必要な責任準備金として積み立てています。

また、異常災害などに備えるため、責任準備金のなかに異常危険準備金として、毎年積み立てているほか、海外へも再保険をだして巨大災害リスクにも備えています。

責任準備金の推移

